

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		能力探求スクール ジーニアス滝ノ水校			公表日	2025年 3月 10日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容によって、机等配置を変更している
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	2	人員配置は満たしている。	退職により人数が少ないと感じる。今後補充予定。男性スタッフがいないとよい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	0			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	0			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	1	外から見えないよう、マットで目隠しをするようにしている。	スペースはあるが、パーティションや間仕切り等があると尚良い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価表の結果に関してはスタッフ間で共有し、改善が必要な項目については意見を出し合っている。難しいと思われる項目については保護者へ理解を求める。	人員が増えることで解決できる内容もある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		外部評価を行っていない。そのような仕組みがあればよい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	様々な研修が社内で行われている。	どうしても特定のスタッフだけになってしまうので、研修内容のフィードバックや、外部の研修を受ける機会があってもよい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	スタッフ間で情報共有を行い、様々な視点からの意見を取り入れるようにしている。	個別支援計画の目標達成に向けて、支援の知識向上を目指したい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	活動で行えるものに関しては積極的に取り入れるようにしている。活動では難しい内容に関しては、余暇の時間を使って行うようにしている。	利用日数の関係で、取り組めない場合もある。活動の幅を増やしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	常に新しい情報がないか、SNS等を使い情報収集に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	余暇の時間を使い個々の課題を行うようにしている。	日によっては、時間や人手が足りない時もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日には難しい場合もあるが（パートさんもいるため）グループLINEを使い、情報共有は行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	困っている時や、活動に参加したくない等の時に選択肢を2～3提示してこども自ら選択するよう促している。	個々が理解し選択しやすい方法を用意できるようにする。（絵カード・文字を書く・話す等）
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	学校の先生とは連携が取れるようお話をしている。	医療機関等は中々難しい。保護者を通じてでも聞けるようになるとうい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者を通じて行っているが、直接学校とやり取りできる場合はお願いしている。	個人情報・安全面の観点から、直接学校から予定表を頂くのは難しくなっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	法人内であれば情報共有、共通理解できている。法人外の場合は、相談員等を通じて共通理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	法人内の事業所やサービスが利用者に合えば情報提供を行っている。	法人外について、知識を増やし案内できるような情報収集につとめる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		今後その様な機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	近所の公園やお出掛けのイベント先で交流を持つように行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	毎日の送迎時に情報交換を行っている。	時間が不十分と感じているご家庭もあるとおもうので、今後時間を作れるようにしたい。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		多方面の情報や知識を習得し、助言できるよう努める。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	丁寧に聞き取りを行い、計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	計画立案の段階で丁寧に聞き取りを行っているため、概ね同意を得られているが、補正等あれば、加筆修正を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	都度送迎時やSNS、電話で対応し、必要と判断した場合には面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2		以前は職業説明会等、保護者向けの交流会が開催されていたが、保護者同士の交流の場を施設ごとにあってもよい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速かつ丁寧に対応し、同じことが起こらないよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	SNSで日々の活動を発信し、2か月に1回広報誌を発刊している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報載っている書類は鍵付きの書庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵や映像、選択肢や筆談などバリエーションを増やすよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	大学の体育館をお借りし、施設合同の運動会を行った際、その大学に通われている大学生にも参加頂いた。	今後も交流できるよう地域のイベント等情報を集める
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	契約の際説明している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	月に1回BCP委員会の会議、施設内では防災についての活動をとり入れるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に聞き取りを行い、書類の記入、緊急時の対応等説明を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者より聞き取り、情報共有していただき、配食、おやつ提供、活動全てにおいて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	都度情報共有、再発防止策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会の設置、月1回の会議を行い、外部講師も招いて研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に説明と、個別支援計画書に記載を行っている。		